

学術研究活動一覧（2023-2024年）

- ◆大家 耀平 2023年岡山県民医連リハビリテーション研究会
「軽度失語症を呈した患者の社会復帰について検討した症例」
- ◆山名 朋花 2023年岡山県民医連リハビリテーション研究会
「COVID-19後廃用によりADL低下を来した症例の経過報告」
- ◆鐘撞 直哉 2023年岡山県民医連リハビリテーション研究会
「左アテローム性脳梗塞により右軽度麻痺・右運動失調を呈し自宅退院に難渋した症例」
- ◆西村 修人 2023年岡山県民医連リハビリテーション研究会
「被殻出血により重度麻痺となり、Pusher現象・半側空間無視を呈し、ベッド周囲動作の再獲得に難渋した症例」
- ◆畑 勇輝 2024年中国ブロック理学療法士学術大会
「PICS予防に向けた介入について」
- ◆小野 龍星 2024年岡山県民医連リハビリテーション研究会
「左視床出血により重度感覚障害を呈した患者の歩行自立に向けたアプローチ」
- ◆桃谷 雅彦 2024年日本心臓リハビリテーション学会
「HFNCを用いた急性期心臓リハビリテーションと、抜管後の嚥下機能評価が有効であった心肺蘇生後症例」
- ◆桃谷 雅彦 2024年第二回「いのちの章典」実践交流集会 特別賞
「重症患者と家族のための安全な生活支援ー集中治療後症候群（PICS）を考慮した取り組み」